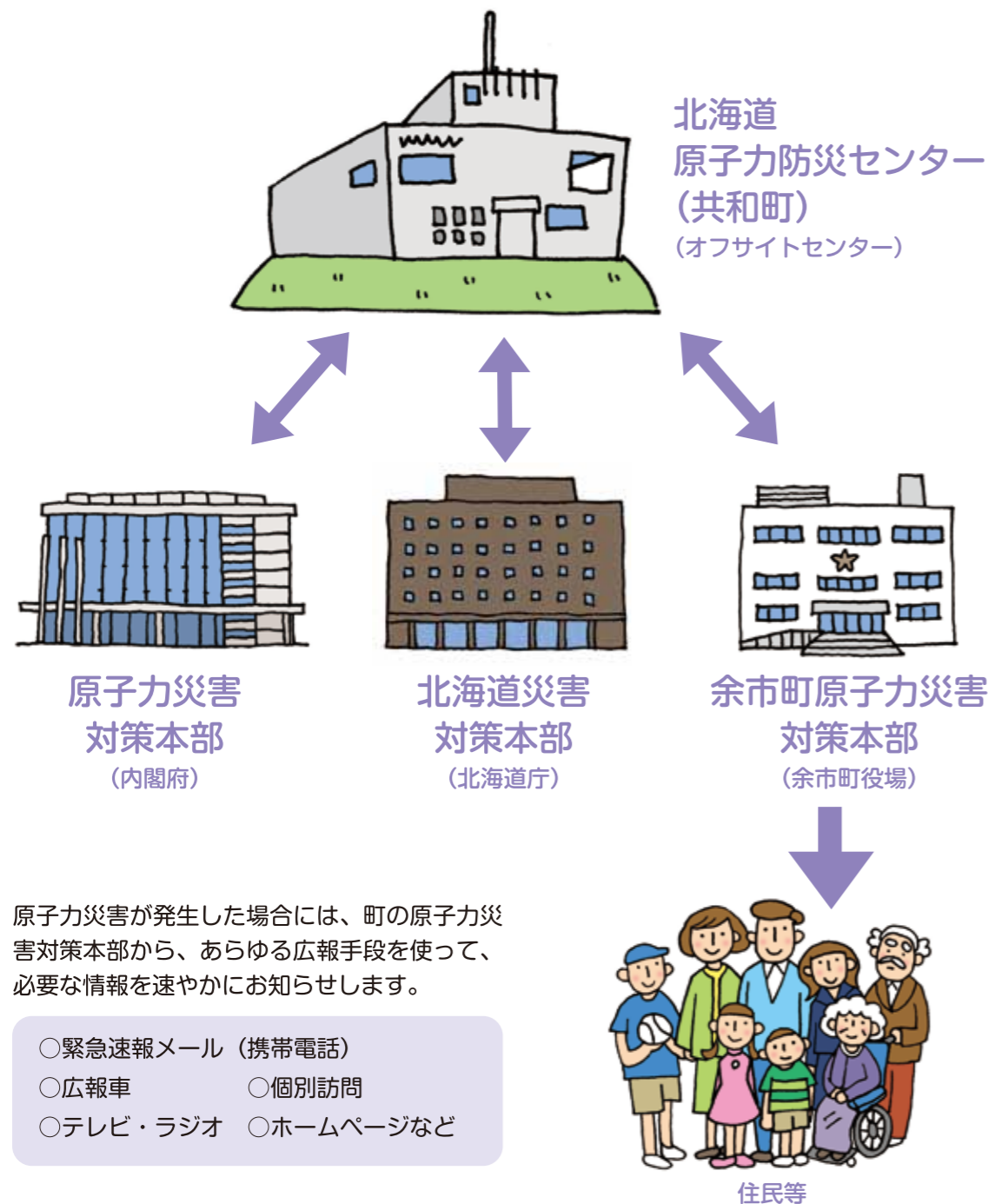




原子力発電所で事故が起きたら 情報伝達の流れは？

原子力災害が発生した場合には、北海道原子力防災センターを緊急事態応急対策の拠点施設として、国、道、関係町村(UPZ内13町村)及び防災関係機関等が一同に会し、一体となってその対策に当たります。原子力防災センターにおいて決定された内容は、町の原子力災害対策本部から住民の皆さんに伝達されます。



原子力発電所で事故が起きたら 余市町の避難先は？

余市町の避難先

余市町の避難先は、札幌市内(中央区・南区)のホテルや旅館等を予定しています。

なお、避難先となるホテルや旅館等に直ぐに入室できないことも想定されるため、一時的に滞在する「一時滞在場所」の札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム(愛称:つどーむ)において、避難先の割り当てを実施します。

※一時滞在場所



札幌市スポーツ交流施設 コミュニティドーム
(愛称:つどーむ)
札幌市東区栄町885番地1 TEL:011-784-2106

自家用車等による避難

自家用車等による避難を行う住民の皆さんは、渋滞緩和のため乗り合いを心がけ、町からの指示による避難ルートを通りましょう。

避難にあたっては、警察による交通誘導などを遵守し、安全運転を心がけましょう。

また、日頃から自家用車等へ早めの燃料補給を心がけましょう。

バス等による避難

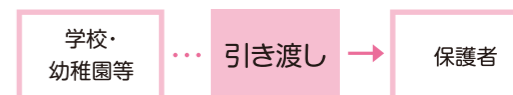
自家用車等の避難手段によらない住民の皆さんは、町が指定する集合場所に集合しましょう。

道や町が確保したバス等により避難を行います。



学校等に通っている児童、生徒、幼児等の避難

原則、帰宅させる対応(保護者と一緒に避難実施)となります。事故の進展が早い場合は、学校等から直接避難することもあります。



※引き渡し方法は、各施設の避難計画による